



平成27年度総代会を開催

第15回養父市森林組合通常総代会を8月29日、養父市ビバホールで開催し、総代161名(委任状出席を含む)の出席、来賓9名ご臨席の中、盛大な総代会となりました。守本副組合長の開会のことは、田村組合長の挨拶に続き、来賓の方々(但馬森林協議会会長・衆議院議員谷公一様、兵庫県議員藤田孝夫様、朝来農林振興事務所長谷口靖雄様、養父市長広瀬栄様等)より、当組合に対し、地域林業の担い手としての活躍を期待しているとの激励と祝詞を賜りました。

続いて、議長には大屋地域の垣守弘氏が選出され、提出議案の討議ののち、全て承認されました。



組合長挨拶

代表理事組合長 田村 力



組合員の皆様におかれましては、平素より組合運営につきまして格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

総代会にて承認をいただきました内容の報告の前に、まずは皆様にお詫びを申し上げます。総代会の一ヶ月ほど前、猟友会会員であった前組合長が鹿の駆除に伴う補助申請手続の問題で辞任し、私が就任することになりました。皆様の信頼や期待を裏切ることとなり、心よりお詫び申し上げます。真摯に受け止め、反省し、今後は役員・従業員が一体となって法令遵守を徹底してまいりますので、今後も変わらぬご支援を、どうか宜しくお願い申し上げます。

事業についてですが、平成26年度も森林整備事業を中心に事業展開し、15百万弱の利益を計上しておりますが、前年度と比べると十分な成果ではありません。主な要因としては、森林整備事業の事業量が前年度対比1億円ほど減少したこと、切捨間伐から撤出間伐へと政策変更が進んでいますが、当組合ではそれに対応する体制整備が遅れていることにあります。林業は農業以上に政策の影響を受ける産業であり、林業政策の変化に合わせた事業展開がより必要になっております。

27年度も当組合を取り巻く環境は改善せず、経営収支は前年度以上に厳しい状況になると予想されます。森林経営計画に基づく撤出間伐を主体とした受託事業を強化し、経営改善を図るとともに、組合員皆様の山林価値の増大と実現に努めてまいります。そのために、役員・従業員が一体となり経営改革を進めてまいります。

森林は建築木材・薪・炭の供給地だけの時代から環境面から重視される時代に移り、近年は熱エネルギーとしての価値が重要視されるようになっております。森林経営計画、県民緑税を活用した防災対策、国家戦略特区等への取り組み強化が必要であり、行政機関との信頼関係を深め、努力してまいります。また、朝来バイオマス発電への対応、不在山主の増加、組合員の減少、若い森林技術者採用・育成など問題が山積しております。当組合固有の問題として、駐車場さえ不足する本所、面積・場所とも不十分な土場、遊休資産の活用等の問題があります。

単年度では解決できない大きな問題が多く、組合員の皆様に直ぐに成果を報告できないとは思いますが、継続的に取り組み、実績を上げてまいります。養父市森林組合の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

通常総代会の提出議案

総代会では、以下の9本の議案を提出しました。討議ののち、全て承認されました。

- 第1号議案** 平成26年度事業報告書、貸借対照表、損益計算書の承認について
- 第2号議案** 平成26年度剰余金処分案の承認について
- 第3号議案** 平成27年度事業計画の設定承認について
- 第4号議案** 平成27年度借入金最高限度額の決定承認について
- 第5号議案** 一組合員に対する貸付金最高限度額の決定承認について
- 第6号議案** 平成27年度役員報酬額の決定承認について
- 第7号議案** 定款の一部変更について
- 第8号議案** 剰余金の預入れ先金融機関の決定承認について
- 第9号議案** 附帯決議



1. 年度中途に於いて第3号議案のうち、一部変更を要するに至ったときは、理事会に一任する。
2. 行政庁等の指示により、この議決に修正、加除を要する場合は、議決の趣旨に反しない範囲において、修正の権限を理事会に一任する。

平成26年度 貸借対照表 (平成27年6月30日現在) (単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 純 資 産 の 部	
流動資産	現金・預金	892,202,491	流動借入金
	売掛金	1,885,437	その他
	たな卸資産	1,546,141	計
	その他	60,427,866	長期借入金
	計	956,061,935	公庫資金借入金
固定資産・繰延資産	森林	29,450,270	その他
	土地	92,390,611	計
	その他の有形固定資産	81,609,413	資本
	無形固定資産	1,653,681	現金払込出資金
	系統出資金	16,123,000	現物払込出資金
	その他・繰延資産	3,341,178	計
	計	224,568,153	剰余金
当期末処理損失金			準備金・積立金
合計	1,180,630,088		当期末処分剰余金
			計
			合計
			1,180,630,088

平成26年度 損益計算書

(平成26年7月1日～平成27年6月30日) (単位：円)

科 目	金 額
I 事業総利益	
1. 収 益	772,006,919
2. 費 用	606,067,600
事業総利益	165,939,319
II 事業管理費	157,778,732
事業利益	8,160,587
III 事業外損益	4,710,824
経常利益	12,871,411
IV 特別損益	2,419,996
税引前当期純利益	15,291,407
法人税・住民税及び事業税	450,840
当期剰余金	14,840,567
前期繰越剰余金	5,736,826
森林整備促進事業積立金取崩額	1,519,480
当期末処分剰余金	22,096,873

平成26年度 剰余金処理

(単位：円)

摘 要	金 額
I 当期末処分剰余金	22,096,873
当期剰余金	14,840,567
前期繰越剰余金	5,736,826
森林整備促進事業積立金取崩額	1,519,480
II 剰余金処分量	
(1) 法定準備金	3,000,000
(2) 任意積立金	
① 損失補填積立金	3,000,000
② 施設拡張積立金	0
③ 森林整備促進事業積立金	0
(3) 出資配当金	5,956,249
III 次期繰越剰余金	10,140,624

平成26年度 主な森林整備取扱高

事業種目	件数	数量
鳥獣害防止施設	20	16,648m
新植	4	14.64ha
下刈	41	202.82ha
除伐	6	47.63ha
間伐	331	838.49ha
内搬出間伐	43	104.09ha
簡易土留め工	6	8.65ha
枝打	1	0.70ha
広葉樹整備	21	71.53ha
管理歩道新設	8	8,172m
作業道新設	17	16,285m
木柵工	1	26.00m

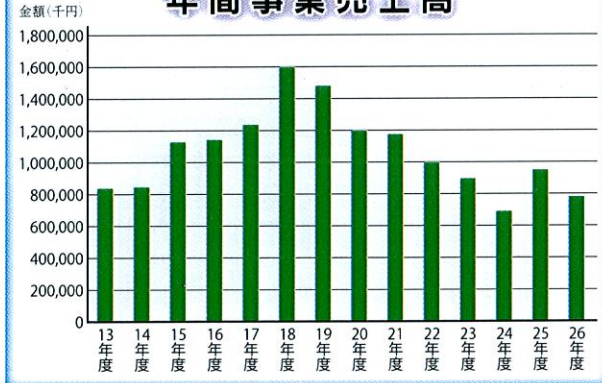
平成27年度 損益計画

(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業総利益	
1. 収 益	785,677
2. 費 用	619,463
事業総利益	166,214
II 事業管理費	163,669
事業利益	2,545
III 事業外損益	5,315
経常利益	7,860
IV 特別損益	149
税引前当期純利益	8,009
法人税・住民税及び事業税	450
当期剰余金	7,559
前期繰越剰余金	10,141
当期未処分剰余金	17,700

年間事業売上高



平成27年度 運営の基本方針

【総括】

●平成27年度の公的機関の利用については、森林管理署、兵庫県、養父市、森林総研、兵庫みどり公社から発注される森林整備事業の入札に参加する予定です。

緑税関連事業の里山防災林、野生動物育成成林事業、針広混交林、緊急防災林等、請負事業の受注と市内の森林整備、特に員内利用の拡充推進を目的として、平成28年9月より稼働する朝来バイオマス発電により、林産班の増班を行い搬出間伐に於ける搬出量の増量を図り、森林の持つべき機能向上と経済効果を高めるよう努めます。

●数年後森林技術者の定年退職により、森林技術者の減少を伴い尚、社会的構造による労働者不足等が予測され、今後組合の林業労働力不足と森林技術者の世代交代を考慮した新人森林技術者育成と、対策を図ります。

●林産班の増班に伴い、組合員の搬出間伐増産目標と高性能林業機械等の施設拡充を図り、組合員の経済効果を高めるよう努めます。労務の不足が生じた場合は近隣の森林組合及び、関係業者に下請け展開し、計画数量の実施に努める予定です。

森林技術者 南但消防本部から特別表彰

バイク事故の男性を救助 組合でも表彰

大屋町和田であった大型オートバイ事故で、道路から川に転落した負傷者を救助したとして、当組合の従業員(森林技術者)・藤岡純典さんが、南但消防本部から8月10日、特別表彰を受けました。

藤岡さんは、主に伐採した木を搬出する大型トラックを運転しています。7月20日午前11時40分頃、大屋町明延から木材を積んで現場を通り掛かり事故に気づき、川に投げ出された男性を川岸まで助け上げ、負傷していた足をタオルで止血し、救急車到着まで励まし続けました。

当組合でも、「社会的に貢献し組合の名誉となる行為」として評価し9月7日、表彰しました。「当たり前のことをしたまです。森林組合などで応急手当を学んでいたのが役に立ちました」と話していました。



区分	代表理事 組合長	副組合長	業務委員長	副委員長	委員 (顧問)	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	管理委員長	委員	委員	委員	代表監事	監事
特区バイオマ 委員会	○	○	副	○															
労働災害 防止委員会	○	○	正											副					
広報委員会	○	○													副				
役員氏名	田村力	守本國美	田次	木谷作良	檀増男	中島啓介	中庭保	片山四六	奥田健三	山崎誠	堀井克夫	谷口巖	齋藤清忠	瀬原達夫	高橋眞生	沖田義信	大谷忠雄	片芝正明	

**8月29日の理事会にて
新体制となりました**
 今後ともよろしくお願い申し上げます。



嘱託	係長	係長	課長補佐 兼管理係長	課長	課長	統括課長兼 参事心得	【業務課】	課長補佐	【管理課】	参事兼管理課長	区分	担当地域	職員氏名						
辻本 栄一	小林 恵美	藤原 可苗	佐藤 裕介	寺尾 裕孝	余根田 正弘	吉井 輝和	松田 修一	関宮 政実	大屋 俊博	関宮 修三	関宮 和憲	大屋 典昭	八鹿 良忠	養父 享伸	西垣 司	岡本 陽子	太田垣美雪	池田 広之	職員氏名

職員配置
 (平成27年8月現在)

夏期安全衛生大会を開催

7月10日本所にて、役員・従業員合同による安全衛生大会を開催しました。安全標語の入選表彰に続いて班毎の安全決意表明を行いました。
 今年度の年間標語は、「**一歩下がって安全確認 一歩進んで安全行動!**」に決まりました。



養父市森林組合の概要
 H27.8.31現在

管内民有林面積	34,307ha
組合員数	3,721名
出資金	298,448千円
役員：理事15名・監事3名	
職員：18名・森林技術者56名	

編集後記

森林は水源の管理・快適な環境の形成・木材の生産と多面にわたって私たちの生活を支えています。これらの役目を継続していくために私たちは、地域の森林育成整備に取り組むことが使命と言えます。昭和40年代以前は、お盆の花、桔梗、おみなえし等、近くの野山での収集が出来、楽しい仕事でした。今はその野山も、杉、ヒノキの人工林となつていきます。そして山の価値観も年代ごと様変わりしています。しかし今生活していく中で課題もあります。野山の環境面からの改善、森林の路網もふくめての生産性の見直し等の必要性に迫られています。そしてもう一度宝の山を取り戻さなければなりません。この事は地域みんなの願いだと思えます。そこで組合員と職員が丸になり現状の課題に正面から取り組み、私たちが地域の森林を守っていく事が必要ではないでしょうか。野山での桔梗を想いつつ後記とさせていただきます。(m.y)